

図書館だより



京都市立高野中学校
図書館

令和4年 3月号

新生活に向けて、読書しよう

4月になれば、1年生は先輩に、2年生は受験生に、3年生は新しい場所で新しい生活が始まるなど、たくさんの変化が訪れます。今年度最後に紹介する本は

「プリンセス・ダイアリー」という、そんな「変化」がテーマの本です。

主人公ミアはアメリカで普通に暮らしていましたが、ある日、自分はある王国のプリンセスだということが分かり、それが学校中に知れ渡ります。この本の魅力はそんな大きな変化に戸惑いながらも前を向いて進んでいくミアの姿と彼女を近くで支える個性豊かなキャラクターたちです。ぜひ読んでみてください。

図書委員長

3月は蔵書点検のため閉館

春休みの貸出しはありません。

4月の開館日は図書館だより（4月号）でお知らせします。



2021年度 高野中図書館ランキング

全校クラス別最多貸出冊数

1位	1-3	196冊
2位	1-4	185冊
3位	1-2	162冊

★多読者（貸出冊数）ランキング

今年度、最も多くの図書を借りて読んだ人

1位	90冊（1年生）
2位	84冊（2年生）
3位	52冊（3年生）

※年間50冊以上図書を借りて読んだ多読者には後日「多読賞」を贈ります。

□ 1年生に最も貸し出された本

- 1位 「キャプテン 君は何かができる」ちばあきお/原作・山田明/著
- 2位 「orange 1」 高野 莓/原作 時海 結以/著
- 3位 「100日後に死ぬワニ」 きくち ゆうき/著

□ 2年生に最も貸し出された本

- 1位 「余命10年」 小坂 流加/著
- 2位 「神さま気どりの客はどこかでそっと死んでください」 夕鷺かのう/著
- 3位 「もしも徳川家康が総理大臣になったら」 真邊明人/著

□ 3年生に最も貸し出された本

- 1位 「サマータイム」佐藤 多佳子/著
- 2位 「14歳からの哲学」池田 晶子/著
- 3位 「量子論」 ニュートンプレス

ありがとう
ございました!



今年度も感染対策をしながらの図書館利用にご理解とご協力をいただき、本当にありがとうございました。リモートでの「ビブリオバトル」や学年別の「選書会」など、去年はできなかった取り組みも、先生方や生徒のみなさんの思いと創意工夫で実施することができ、大変感謝しています。また、コロナ禍にも関わらず、4月～2月までの貸出冊数が

2380冊と、昨年よりも多くの本の貸出利用がありました。

好きな本、勉強の本、部活の本、息抜きの本…これからもいろいろな本と出会い、自分の世界をどんどん広げて頂けたらうれしいです。

2022年度も高野中の読書センター、学習センター、情報センターとして、みなさんのご利用を心からお待ちしています。

学校司書 坪井 真穂

「卒業・旅立ち」に贈る本



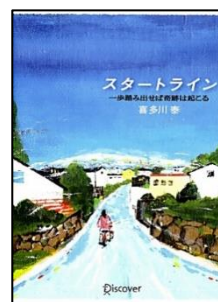
14歳からの哲学 考えるための教科書

池田 晶子/著

「本物を見抜ける人間になるには、

自分が本物にならなくてはならない」

当たり前と思っていることが、本当はどういうことなのか、知りようになってきたあなたに、この「哲学」本をおすすめします。答えのないものを考え続けることは難しいけれど、物事を「自分で考える」ことが、もっとあなたの人生を豊かにし、あなたがあなたでいられる自信を与えてくれます。どうか、悩むのではなく、考えることを心掛けて。



スタート・ライン 喜多川 泰/著

「今の自分にできることで、自分の価値を判断しやいかん。5年後の自分の可能性を舐めるなよ。」

18歳の淡い恋とそこから変わっていく人生の物語。

15歳のあなたの人生もこれから少しずつ変わろうとしています。主人公と同じように、卒業する君たちにも素敵な「出会い」が訪れますように。

最初の質問

長田弘、いせひでこ/著 講談社

「今日、あなたは空を見上げましたか。空は遠かったですか、近かったですか。」

この詩の絵本は美しい言葉とすべて質問でできています。

自分の答えを考えながら読み進めると、自然と今の自分と向き合える、その先の自分も見えてくる…そんな素敵な詩の絵本です。

